

海外事務所 主な活動報告（令和6年9月）

《ワシントン州事務所》

神戸ビーフを含む和牛肉の需要拡大を図るため、和牛マスター輸出拡大コンソーシアムが、神戸ビーフの歴史や魅力のPR及び海外の消費者の嗜好を踏まえた食べ方提案等のプロモーションをフロリダ州マイアミで実施した。

会場ではレセプションに引き続き、着物姿で肉をさばき和牛の魅力を伝える「和牛着物肉職人」によるカットショーが行われ、試食では高級部位以外の肉のPRも目指し、モモ等を用いた神戸ビーフのフルコースが提供され、いずれも好評だった。

当事務所は、同コンソーシアムの一部行程に同行したほか、ひょうごフィールドパビリオンの牛肉関連プログラムを紹介する資料を来場者に配布するなど、兵庫県の観光等のPRを実施した。

今後も県産品等の販路拡大を目指す事業者等の取組を支援するとともに、兵庫の魅力発信に向け連携していく。

＜神戸ビーフ輸出拡大プロモーション＞

- 日 程 2024（R6）年9月16日（月）
- 場 所 クローマイアミ（フロリダ州マイアミ市内）
- 参加者 食肉流通事業者、レストラン関係者等 約40名



カットショーの様子

《パリ事務所》

県立三木高校の生徒と教員が渡仏し、交流先のクロミエ高校の生徒宅でのホームステイや、高校での授業参加、兵庫県と友好関係にあるセヌ・エ・マルヌ県内の歴史遺産の見学など、10日間の訪問プログラムを実施した。

当事務所では、いくつかのプログラムに同行し、両校の交流を支援した。

1年毎の相互訪問のため、来年は9月にクロミエ高校の生徒が三木高校を訪問し、開催中の大阪・関西万博会場でも三木市と協力して両校交流のPRを計画している。

＜クロミエ高校と県立三木高校の交流＞

- 日 程 2024（R6）年9月20日（金）～29日（日）
- 場 所 クロミエ高校等（セヌ・エ・マルヌ県内）
- 参加者 クロミエ高校、県立三木高校の生徒・教員等 約100名



両校の生徒による交流

《香港経済交流事務所》

9月23日から24日にかけて、本県が友好・経済交流に関する覚書を締結しているベトナム・ホーチミン市が主催する国際フォーラム「第2回フレンドシップ・ダイアログ」に出席した。この事業は、コロナ禍で実践された国際的な地域間協力のさらなる発展を目指し2022年12月に初めて開催され、本県を含む海外の友好提携自治体等を招待して政策対話を行うもの。第2回となる今回は、持続可能な開発に向けた産業変革を促進するための国際的な地域間協力の役割に関し、特にアイデアとベストプラクティスの共有に重点が置かれ、議論を深めた。

本会議は、議長を務めた同市のファン・ヴァン・マイ人民委員長が、国際的な地域間の相互協力を不可欠とし、知識や経験の定期的な交換に向けたパートナーシップやコミュニケーションの強化等を謳う声明を発表して、盛会裏に閉会した。

また、サイゴン川沿いのバグダン港公園で、提携自治体との国際友好を示すシンボルが披露された。メビウスの輪をモチーフとして新たに整備されたモニュメントの落成式では、今年5月に本県への同市経済訪問団を率いたヴォー・ヴァン・ホアン副人民委員長から、緊密なパートナーシップを築いてきた海外友好自治体に対する感謝の意が表された。



閉会後には両腕を交差させて手を握るASEAN式握手で連帯が示された

＜ベトナム・ホーチミン市主催国際フォーラム「第2回フレンドシップ・ダイアログ」への出席＞

○日 程 2024（R6）年9月23日（月）～24日（火）

○場 所 GEM センター他（ベトナム・ホーチミン市内）

○参 加 者 ベトナム外務副大臣、ホーチミン市 共産党委員会書記・人民委員長・副人民委員長、海外友好提携自治体等、約40名（本席への着席者）